

お茶の間

2018
11月発行



料金後納
郵便

ゆうメール

■編集・発行
高橋正子事務所
〒491-0044
一宮市大宮 1-3-6
グランドメゾン大宮 1F
TEL(0586)71-2900
FAX(0586)71-5380



高橋正子県政報告

PRESS

愛知県議会議員
高橋 正子
(一宮市選出)

ご家族の皆さままでご覧ください。

身近で分かりやすい会報をお届けします。



新政あいち県議団は

「平成31年度施策及び 当初予算に対する提言」を 知事へ提出!

本県は製造品出荷額等が40年連続日本一!という圧倒的な産業集積を誇るなど、日本の成長エンジンとしての役割を担ってきました。しかし、本県でも高齢化により社会保障費のさらなる増加は避けられず、厳しい財政運営を強いられることになります。

こうしたことから我が団においては、県の総合計画や個別ビジョンなどを整理し、その進捗状況・達成度を精査・検証することで県施策の課題を掘り下げる作業を今年度行ってきました。そして将来、愛知の目指すべき社会モデルを念頭に、地域に根ざした政策の実現を目指して最重点に取組むべき事項13項目を「平成31年度施策及び当初予算に対する提言」にまとめ、9月議会閉会日に大村知事に提出しました。



新政あいち県議団5役が大村知事に提言書を手渡す。

県民目線

生活者目線

勤労者目線

職場目線

今年度の新たな視点
女性目線

9

中小企業の人材確保と
事業承継の推進

1

子ども・女性・若者を守る
取組の推進

5

地域包括ケアシステムの構築
及び認知症対策の充実

10

農林水産物のブランド化
及び6次産業化の推進

2

県民の生命・財産を守る
強靱な県土づくりの推進

6

子育て支援の充実

11

道路整備の推進

3

国際展示場の整備・施設運営を
通じた観光交流機能の充実

7

自動運転の推進

12

教員の多忙化解消による
良好な教育環境の整備

4

「あいち地球温暖化防止
戦略」の着実な実行

8

働き方改革の推進

13

交通事故防止対策の推進

プロフィール

- 昭和57年3月 愛知学院大学法学部法律学科卒業
- 昭和58年4月 (株)一宮タイムス社編集部に入社
- 昭和63年8月 一宮タウン情報誌「EGG」を創刊、編集長
- 平成12年2月 (有)お茶の間通信社を設立、代表取締役
- 平成15年4月～ 愛知県議会議員に初当選、現在4期目

愛知県議会議員おもな役職・職務実績

- 平成19年5月～20年5月 民主党愛知県議会議員団政務調査会長
- 平成21年5月～22年5月 愛知県議会健康福祉委員会委員長
- 平成24年5月～25年5月 民主党愛知県議会議員団幹事長
- 平成25年5月～26年5月 名古屋港管理組合議会監査委員
- 平成26年5月～27年5月 民主党愛知県議会議員団副団長
- 平成27年5月～28年5月 産業振興・環境対策特別委員会委員長
- 平成29年5月～30年5月 名古屋競輪組合議会議長
- 平成30年5月～ 新政あいち県議団団長

事務所のご案内



<http://masakonet.info>
E-mail 138@masakonet.info

愛知県議会議員 高橋正子



検索



〒491-0044 一宮市大宮1-3-6 グランドメゾン大宮1F
TEL(0586)71-2900 FAX(0586)71-5380

平成30年9月定例県議会 主な審議内容

平成30年愛知県議会9月定例会は9月21日～10月16日まで開かれ、一般会計補正予算や条例の制定・一部改正など39議案を可決成立。そのうちの一般会計予算については、今年の夏の猛暑を踏まえ県立特別支援学校の空調設備の整備前倒し（3,784万余円）や、本年6月に発生した大阪府北部地震において小学校の塀が倒壊し、小学4年の女児が死亡した事故を受けて建築基準に適合しないコンクリートブロック塀撤去など（59億2,300万円）が含まれている。

また、条例関係では、地球温暖化対策を推進するため「愛知地球温暖化対策推進条例」を制定するとともに平成21年度から10年間にわたり県民に負担いただいていた「あいち森と緑づくり税」の5年間延長のための条例改正など。

なお、9月27日の代表質問において、大村知事は「議会と連携しながら責任を担っていきたい」と三選出馬に意欲を示した。

「愛知県地球温暖化対策推進条例」の制定

本年2月に「あいち地球温暖化防止戦略 2030」を策定し、温室効果ガス総排出量の削減に取組むこととしていることから、地球温暖化対策に特化した条例を制定。県・事業者および県民の責務を明らかにし、各主体の自主的かつ積極的な取組をこれまで以上に強力に推進する。事業活動における温室効果ガス総排出量が多い事業者に対し、地球温暖化対策計画書及び実施状況書の提出を義務付けていたが、新たに計画に掲げる対策の状況について県が評価、公表及び必要な助言をおこなうこととするほか、県・事業者・県民などの取組なども定め、地球温暖化対策の取組を積極的に推進。



愛知県庁本調査の安全対策の推進

愛知県庁本庁舎の安全対策として、屋根の緊急補修や落下防止策を実施し、国の重要文化財としての保存活用を図っていく。



1,302万7千円

「あいち航空ミュージアム」(豊山町)に 新たな展示機体を設置

今年11月末にオープン1周年を迎えるのを機に、航空機産業の情報発信や人材育成の機能を一層強化するため展示機体の充実を図る。(展示開始は平成31年2月頃)



1,024万9千円



零戦五二型実物大模型
佐賀県の板金職人が製作したジュラルミン製の実物大模型。映画「永遠の0」(2013年公開)で使用

EH-101
(警視庁退役ヘリコプター)

伊アグスタ社と英ウェストランド社の共同開発。三宅島噴火の慰問の際、今上陛下が搭乗。



「てんかん」の医療体制を整備し 医療の充実を図る

専門医療機関が全国的に少ない、てんかん診療拠点機関として、名古屋大学医学部付属病院を指定。専門的な相談支援や医療従事者向けの研修など、てんかん診療体制を整備していく。

104万8千円



「あいち森と緑づくり税」の課税期間を延長



森林・里山林や都市の緑を整備・保全する「あいち森と緑づくり事業」を引き続き実施するため、財源となる「あいち森と緑づくり税」の課税期間を平成35年度まで5年間延長する。

「公衆に著しく迷惑をかける暴力的不良行為等の防止に関する条例」の一部改正について

恋愛感情等の認定が困難なストーカー事案及び妬み、恨みその他の悪意の感情を充足する目的による嫌がらせ事案が発生。学校、事務所等の不特定または多数の者が利用する場所等での盗撮が発生。



(法的な規制がされていないため、条例による規制が必要)

改正の内容

嫌がらせ行為の禁止、のぞき見・盗撮行為の規制場所の拡大及び準備行為の規制、罰則の引上げ、条例名を「愛知県迷惑行為防止条例」に改正。



AICHI topics

愛知県国際展示場の愛称およびロゴマークが決定！

2019年9月に中部国際空港島(常滑市)に開業予定の愛知県国際展示場について、多くの人に親しみをもってもらうとともに、国内外に向けてさらなる情報発信をおこなっていくために愛称を募集したところ2,581点の応募があり、審査の結果「Aichi Sky Expo アイチスカイエキスポ」に決定！



●将来に向かって羽ばたいていくイメージをもってもらえるよう「Sky」を採用し、展示会の意味として国際的にも浸透し海外の展示場の名称にも事例がある「Expo」を採用。
●ロゴマークは、立地環境の魅力である常滑の海、空、空港島の風を和テイストのタッチで表現。構成する3つの要素は「Aichi Sky Expo」の頭文字であるA・S・Eを表す。

AICHI
SKY EXPO



杉原千畝広場「センポ・スギハラ・メモリアル」が10月13日オープン！

第二次世界大戦中、ユダヤ人難民に日本通貨ビザを発給し多くの命を救った杉原千畝氏人道的功績を後世に語り伝えていくため、杉原氏の母校旧制第五中学(現在の県立瑞陵高校)に顕彰施設「杉原千畝広場センポ・スギハラ・メモリアル」を整備し、10月13日オープンした。

愛知県立
瑞陵高等学校
名古屋市瑞穂区
北原町2-1



【主な展示内容】
杉原氏とユダヤ人家族の等身大ブロンズ像、陶板で忠実に復元したビザリスト42枚、第五中学校時代資料

詳細は別紙
「お茶の間プラス」
にて紹介



道路コンセッションによる パーキングエリアのリニューアル！

本県が全国に先駆けて実施している有料道路コンセッションの取組のひとつとして、知多半島道路の阿久比パーキングエリアと大府パーキングエリアが、2018年7月18日リニューアルオープンした。民間ならではの創意工夫により、有料道路コンセッションの目的である利用者サービスの向上と地域の活性化が図られる施設となっている。世界的建築家の隈研吾氏の監修のもと、木の質感あふれる建物に一新。レストランや売店では、日本を代表するシェフの辻口博啓氏や奥田政行氏、笠原将弘氏がプロデュースした地元知多の食材を使ったメニューや土産品が展開されている。



質問 平成30年「産業労働委員会」

9月定例県議会
「愛知ブランド企業」
について

愛知県が平成15年からスタートしている「愛知ブランド企業」に認定された企業は平成30年2月現在、371社。世界に誇る独自の技術や製品を持ち、キラリと光る「愛知ブランド企業」は認定基準を満たす厳選な審査で選定。

高橋委員

Q 愛知ブランド企業に認定されるということは、企業にとってどんな意味をもち、メリットは？

A 【産業労働部】「愛知ブランド」マークを広報ツールに使用でき、県として最大限に情報発信に努めていく。

Q 人材採用面で意欲のあるブランド企業に対してどのようなサポートをしているのか？また、東京圏および関西圏の9大学との間で初めて「就職支援協定」を締結したが「愛知ブランド企業」のPRと人材確保への取組は？

A 【産業労働部】就職フェアに愛知ブランド企業枠を無料で設置したり、愛知労働局と共催する就職フェアの開催。9大学へは就職セミナーや学生のインターンシップの受け入れ支援を行う。

Q 「愛知ブランド企業」を前面に出し、国内外から愛知の中企業への関心度はどのように変わってきているか？

A 【産業労働部】昨年度の愛知ブランドのホームページのページビューは1800万件となり、マスコミで取り上げられる回数も増え、中小製造業者にも目を向けられるようになってきた。

要望 全国的にもこのブランド企業の認定制度は珍しい。県と市町村が連携して「愛知ブランド企業」を一社でも増やす取組をしてほしい。

一宮市内の「愛知ブランド企業」認定は22社
(㈱美ノク、オリザ油化㈱、早善織物㈱、㈱野呂栄作、中伝毛織㈱、中外国島㈱、葛利毛織工業㈱、茶久染色㈱、㈱岩田レーベル、プリントス㈱、㈱鳥越樹脂工業、ハジメ産業㈱、名北ゴム㈱、㈱ケーエスティー、㈱中工、㈱フロッコート名古屋、㈱ニュー・サンワ、㈱志水製作所、㈱山田ドビー、㈱サンメカニック、㈱名古屋刃型、㈱サンワード)

「平成29年度決算特別委員会」

Q 愛知県農業総合試験場では、農業および農政が抱えている課題の解決に必要な技術開発を中心とした試験研究132課題を平成29年度行った。そこで、昨年度の農業総合試験場の研究成果は？

A 【農林水産部】愛知県農業総合試験場の2017年の10大成果を発表している。そのうちベスト3を紹介すると、第1位は「華麗な花びら『かがり弁』」の輪どく新品種を開発。第2位は名古屋コーチンの肉用新系統「NGY7」を開発。第3位は植物成長調整剤によるコショウランの品質向上技術を開発。今の時代のニーズとともに農業分野に求められる研究開発に力を入れる。



高橋正子は、県政の**今と将来**を考え

モットー

平成15年に
初当選してから
一貫してきたこと**時局の話題・問題**
に取組みます。

「低い目線」「問題意識」

そして何にでも「好奇心」を持つこと。

生活者の目線

「命」「雇用」「暮らし」を守り、「安定」した愛知をめざすために**生活者の目線**、**女性の視点**、そして30年間取材記者で培った**現地現認主義と問題意識**をもって、県政の諸課題に取り組んでまいります。

編集者の目線

今、何が問題なのか…、この地域ではどうなのか…、そしてどうすべきなのか…。時局の話題・問題に取り組んでいくには、**地元新聞記者・タウン誌の編集者としての経験**をフルに活かし、常に**問題意識と好奇心**を持つことが大切だと考えます。これまでもこれからも「直感と感性」で、県政の諸課題に向き合ってまいります。

**高橋正子の5大政策**

男女共同参画施策に取組み、『ウーマノミクス』を推進します。



女性の目線、女性の視点、そして女性の意見を、さまざまな分野で反映することこそ、地域活性化につながります。女性が活躍できる社会と環境の整備に努めます。

2 災害や犯罪から「命」と「暮らし」を守ります。

南海トラフ巨大地震に備え、建物の耐震化・家具固定率100%達成などの減災対策と、発災直後からの避難生活対策（女性の視点で）の取組み。また、防犯力を高めて犯罪のない地域づくりを。

**3 産業育成と経済の好循環で元気な愛知を！**

2027年開業のリニア中央新幹線の開業を活かした地域づくりと、一宮の地場産業の再生。さらに企業誘致で「雇用」と活力ある街づくりを。

**4 子どもを安心して産み育てられる街づくり。**

若い世帯が住んで良かったと思える街づくり、子どもを安心して産み育てられる環境の整備を。また、女性が希望すれば育児をしながら働ける社会、さらに子育てを終えた女性の復職もしやすい社会へ。

**5 いきいきと元気に暮らせる社会を。**

誰もが生きがいを持って、互いに支え合える街づくり。地域医療の充実・医療従事者の確保もでき、障害のある人もない人も共に自分らしくいきいきと暮らせる社会の構築を。



詳しくは
ホームページをご覧ください
<http://masakonet.info>



本会議

4期目の議会での主な質問

平成27年6月議会

1. ちゃんとごはんが食べられない子どもの貧困対策「食」への取組について
2. 良好な自転車交通秩序の実現に向けた取組について

平成29年2月議会

1. 「子どもの貧困調査費」および「子どもの学習支援事業費」について

平成29年9月議会

1. 外国人傷病者の救急搬送と、救急外来の課題について
2. 愛知の「女性の活躍」は進んだのか？～女性活躍促進施策の検証と今後の取組について～

平成30年2月議会

1. 「中高年のひきこもり」の現状について

※平成31年2月議会では代表質問で登壇します。

平成30年度「新政あいち県議団」団長に就任しました

愛知県内の民進党系地方議員が中心地となって、新たな政治団体「新生あいち」が発足したことに伴い、民進党県議団は会派名を「新政あいち県議団」と改め、平成30年度の団長を務めることになりました。団員34人がひとつになって県政発展のために頑張っていきます。



(写真は、平成30年度の役員五役)

県政をわかりやすく！議員活動の見える化を推進！

活動報告「お茶の間プレス」と「お茶の間プレス」を定期発行し、県議会を、そして愛知県の魅力を紹介すると共に、高橋正子の活動も身近に感じてもらえる取り組みをしています。



少人数からの座談会・ミニ集会・講演会も行なっております

雑学を交えてわかりやすくお話をさせていただきます。お気軽にお問い合わせください。